

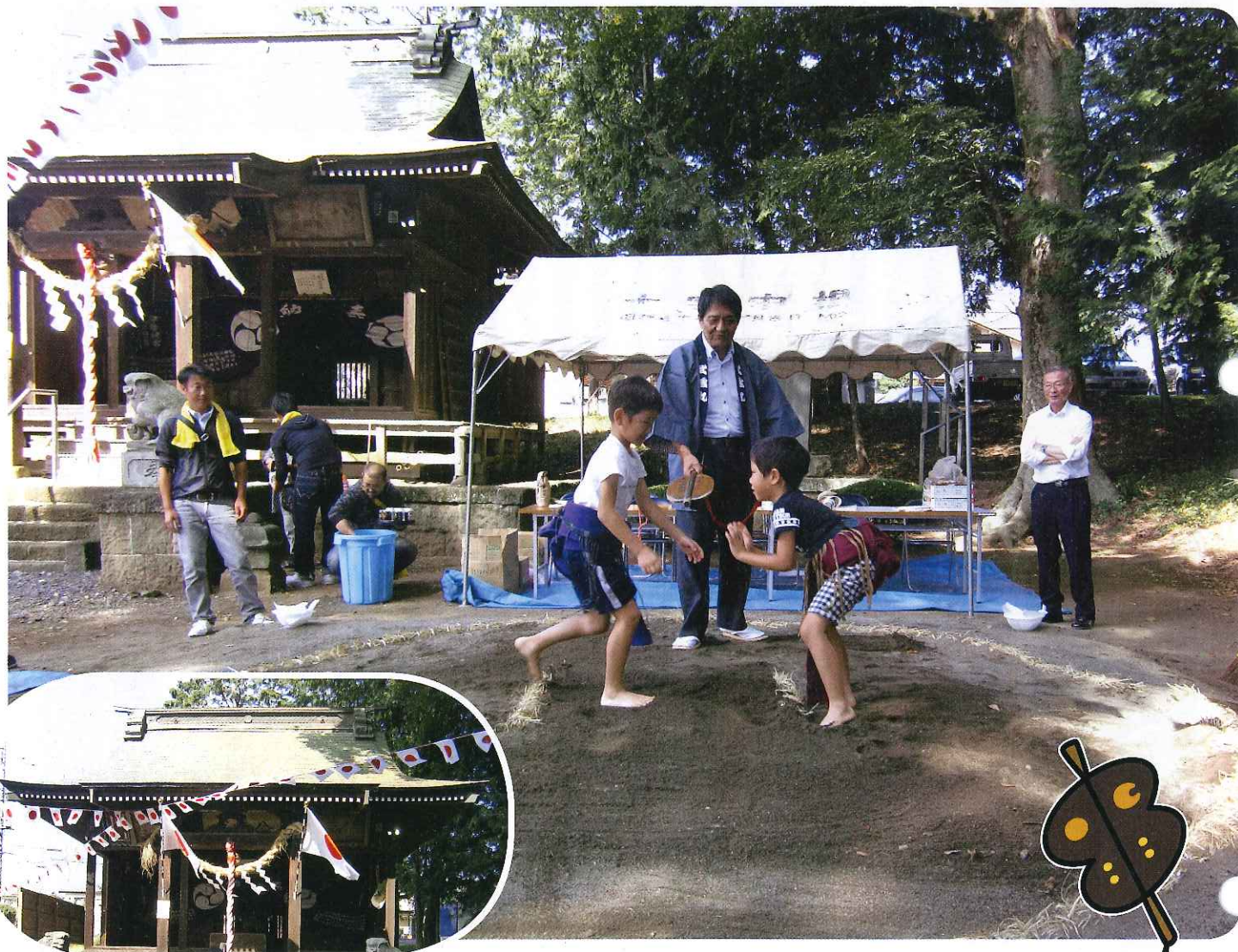


栃木市マスコット  
キャラクターとちぎ

# 農業委員会だより とちぎ

2018. 1. 1  
第 9 号

発行/栃木市農業委員会  
編集/農業委員会だより編集委員会  
電話/0282-21-2393



## 目次

会長新年挨拶	・P2
栃木市の農地利用最適化活動を 長崎県で事例発表しました	・P2
永年勤続表彰されました	・P3
農業者との意見交換会	・P3
農地等利用最適化推進施策に関する 意見並びに回答	・P4
農地パトロールを実施しました	・P5
農業青色申告会パソコン研究会 (都賀支部)	・P5
女性農業委員ネットワーク交流会	・P6
お知らせ	・P6
頑張ってます！ Agrist	・P7, 8
季節の郷土料理	・P7
編集後記	・P8

## 八幡神社の祭礼相撲

毎年10月の第1日曜日に、八幡宮（栃木市藤岡町中根）の境内で奉納こども相撲が行われています。東方は豊年、西方は万作の両者が相撲を取り、今回は豊年の勝利でした。

当社は文治年中（1185～90年）源頼朝が奥州発向の際に、長くこの地に留まり、武運長久の祈願の為に鎌倉の八幡宮を新たに勧請して、建立したものと伝えられています。諸々の祭事を行うことを定めて、その後300有余年も経過し現在に至るも、依然として旧慣例に則って、祭日には一同社前にて諸々の祭礼を行い、国家安穩、五穀豊穡を祈願しています。

〈取材協力 石塚 孝市さん、石塚 博さん〉

〈取材 大山 善夫 委員〉



## 会長新年挨拶

栃木市農業委員会 会長 大橋 重

### 農地利用最適化を推進します



新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、農業委員会活動に多大なご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今日の農業、農村をめぐる状況は、農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加など、多くの課題を抱えています。

このような厳しい状況下、平成27年に農業委員会法が改正され、農業委員会は農地法に基づく許可業務のほか、農地利用の最適化の推進が必須業務となりました。すなわち、担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などを重点業務として行っていくことが法令により明確化されました。

農地利用最適化の推進につき

ましては、農地利用最適化推進委員と農業委員とが連携して活動を展開しております。この活動をより円滑化するため、農業委員のみで組織する専門委員会として農地利用最適化委員会を設置し、合併前の旧市町ごとに担当農業委員を選出し、農地利用最適化推進委員と協力して業務を行うとともに推進委員との連絡調整役となつていただきます。

業務を推進しております。農家の皆様のお宅を訪問させていただく際には、ご協力をお願いいたします。

皆様にとりまして本年が穏やかなにより良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。いただきます。



## 栃木市の農地利用最適化活動を 長崎県で事例発表しました

昨年8月30日に長崎県農業会議からお招きいただき、長崎県農業委員会研修会（県央会場・長崎県大村市）において、大橋会長が栃木市の農業委員会活動について事例発表しました。

当日の研修には、諫早市、大村市、東彼杵町、川棚町、波佐見町の農業委員、農地利用最適化推進委員、長崎県農業会議役員、各市町職員など、約180名が参加しました。

栃木市の紹介、栃木市農業委員会の概要、農地利用最適化活動について写真等を多用したパワーポイントを使用して事例発表しました。

長崎県内では、県内21市町の内、13市町が平成29年7月20日に新制度に移行し、これから新制度に移行する農業委員会も4市町あり、今後どのような活動をして行けばよいか検討している委員会が多いとのこと、長崎県農業会議としては栃木市の事例を参考に戸別訪問を推奨する予定とのことでした。

そのため、農家の戸別訪問を実施していることが全国農業新聞に掲載された栃木市に活動の事例発表を依

頼したそうです。

また、農地利用最適化推進委員を78人に委嘱していることに対して、「農業委員と推進委員の連携はどのようになっているのですか」との質問があり、地域ごとに農地利用最適化の担当農業委員を決めて活動していることや地域別に会議を開催するなど、具体的な内容について回答し、推進委員が1人平均で100戸の戸別訪問をしていることにも驚いていました。

研修終了後、大橋会長と長崎県農業会議の山開会長が、それぞれの地域の農業事情について意見交換し、今後の農業について語り合い、有意義な長崎訪問となりました。







## 永年勤続表彰されました

農業委員の先輩でもある、大出陽子さんが県農業会議より、農業委員永年勤続表彰を受けられました。



大出さんの農業委員として

の在籍は、平成11年7月～平成28年7月までの6期17年にわたり、選挙委員としては栃木市初の女性農業委員でした。

最初は何をやっているのかわからず、覚える事も多く大変だったそうです。男女共同参画という働きかけの中でも、その頃の農業委員はまだまだ女性委員は少なく、その後、議会推薦で2名、選挙委員で2名と女性委員が増えたものの、何をやるかは見つけられず、下都賀農業振興事務所(所)の助言を頂き下都賀地区女性農業委員ネットワークを立ち上げ、女性委員の勉強の場を設け今につながります。

これからの女性委員に望む事をお聞きますと「まだ女性農業委員の活動は、知られていないので、理解してもらうために、目に見える活動をして、これからの女性農業委員の登用に向け活躍してほしい」と助言を頂きました。

《手塚政子委員》

## 農業者との意見交換会を開催しました

昨年10月25日にJAしもつけニューアプロニーにおいて、農業関係者と農業委員会との意見交換会を開催しました。

市の農業主要事業の説明後、地域ごとに分かれ、意見交換しました。

参加者を代表して、2名の方の感想をご紹介します。

### 栃木地域・篠崎藤重農業委員

私の参加した栃木地域の意見交換会では、議論百出となり、発言はとどまることなく相次ぎました。

農地中間管理機構の事業内容が浸透していないので、もっとわかりやすい資料にして欲しい、利用集積を進めるには、集落の情報をもっと活用した方が良い、遊休農地や太陽光発電設備設置後の雑草管理については、強制的手法で対処できないか、といった意見が出されました。

戦後の農地改革による自作小作農政策は希望に満ちたものであり、経済発展を支えるものとなっていきました。この度の大規模化改革は、困難ばかりで希望が見えにくいように思えます。

### 都賀西方地域・

### 若林英一農地利用最適化推進委員

農地の利用集積については、農地の面



積条件によって若干異なるにしても、多くの地域で貸し手がいても借り手が不足していることが共通の課題のように思えました。農地の利用集積を進め、作業効率を高めるため、農地利用ごとにプロック化する方策も提案されました。

獣害対策については、関係機関に対して、獣の住環境排除、防護、捕獲の面から対策を求める意見が出ました。

いずれも農業生産振興上、解決せねばならない、緊急の課題だと思えます。



## 平成30年度栃木市農地等利用最適化 推進施策に関する意見並びに回答（要約）

昨年7月6日に農業委員会から市に平成30年度栃木市農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出し、10月25日付けで市から回答がありましたので、要約を掲載します。

### 1. 農地利用最適化の推進

#### (1) 農地の利用集積について

ア. 担い手への農地の集積を進め農地の遊休化を防止し、農地の利用最適化を図るため、農地の貸借にあたっては、市、農業委員会、JA、市農業公社等が連携し、認定農業者を中心に効率的、効果的に進められるような対応を検討願います。

#### 回答

今後、より一層、国や市の農地利用集積確保に関する補助事業や市農業公社の農地バンク制度のPRを行うとともに、担い手への農地集積を進め、農地の遊休化を防止し、農業関係機関と情報の共有を図るため、定期的に情報交換を図る機会を設け、農業の振興を推進してまいります。

イ. 貸し付けを希望する農地について、耕作条件の良い農地だけを地域の特定の農業者が先に借りてしま

い、地元の担い手等が耕作条件の良くない農地しか借りられない事案が発生していることから、行政とJAをはじめとする各種農業団体が連携し、市全体を対象にした不均衡の生じない貸借、耕作条件の良くない農地を含めた貸借を促す仕組みを検討願います。

#### 回答

5年後、10年後の「農業将来像」について、担い手や地域の農家の方々と話し合う座談会を開催し、「人・農地プラン」を作成しておりますが、有効に機能していない面もありますので、積極的に地域の方に参加していただけるよう工夫を図り、農家の皆様とよく検討していきたいと考えております。

また、農業委員会とも協力し、円滑な人と農地のマッチングができるよう体制づくりの強化を図りたいと考えております。

#### (2) 遊休農地対策について

ア. 今後、遊休農地の増加が懸念されません。次の新たな担い手に荒れていない農地を引き継ぐためには、草刈りや耕起を毎年実施する必要がありますことから、これらを安価な負担で

容易に委託できる仕組みを検討願います。

#### 回答

貸し手の草刈りや耕起に対する新たな支援制度の創設は現実的に難しいと思われま

国では、農地中間管理機構が借り入れている農地について、都道府県が農業者の費用負担や同意を求めずに基盤整備事業が実施できる制度を創設しましたので、基盤整備未実施の地域において、この制度が活用できないか、地元の皆様の合意を確認しつつ、積極的に制度の説明会を開催するなど、早急な対応について検討を行ってまいります。

イ. 有害鳥獣被害の抜本的な解消までには長い期間が必要だと受け止めています。このため、今後も有害鳥獣対策を継続していただき、さらに効果的な対策を検討願います。

#### 回答

有害鳥獣対策として、①里山林整備による野生獣侵入困難な環境整備、②侵入防止柵設置による被害防除、③地元猟友会の協力による有害鳥獣捕獲駆除、を継続的に実施しており、本市の獣害による農業被害額は、3年連続で減少しました。

今後も、被害の根本的な解消を目指す、捕獲駆除と被害防除を継続するほか、ICTによる捕獲わな管理効率化の調査研究も行ってまいります。

#### (3) 新規参入等の促進について

新規参入希望者への初期のアプローチの一つとして、農作業体験等の希望者に協力農家を紹介する等の新たな施策や若手農業者から後継者対策のアイデアを出してもらい、今後の農業後継者対策に生かし、担い手の確保につながる事業を検討願います。

#### 回答

市では、2月に開催されるリクルート主催の「新・農業人フェア」に参加し、本市農業の情報発信を行う予定です。また、経費軽減についても、市独自の制度である「新規就農サポート事業」を利用しやすいようリニューアルしました。

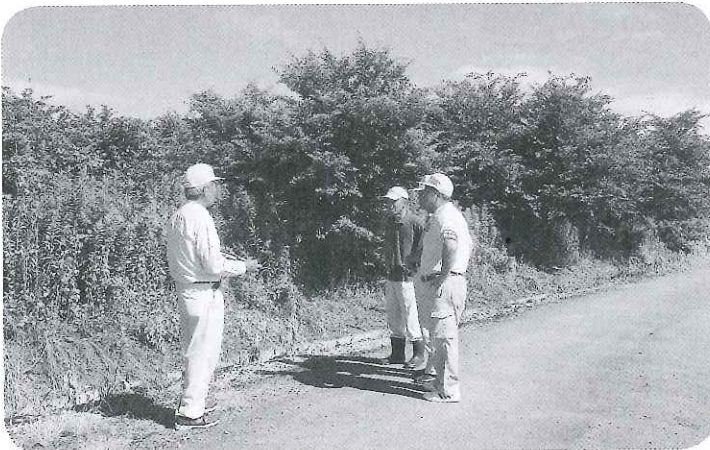
さらに、就農希望者への1週間、市内の先進農家において「農業経営」「農業技術」「農作業」など体験メニューを盛り込んだ「栃木市農業インターンシップ事業」を計画しているほか、若手農業者が多数いる「栃木市農業振興推進会議」において、本市農業施策の方向性を検討、担い手確保につながるアイデアを考え、施策に反映させてまいります。



# 農地パトロールを実施しました

平成28年に農業委員会が新体制に移行してから2回目の農地パトロールの季節となった昨年の夏、市内全農地を対象に調査を行いました。私の担当地域である大宮地区では、8月に3名の農地利用最適化推進委員（以下、「推進委員」という）と私とで状況調査を実施しました。

地図と調査表を基に、前年、耕作放棄地だった農地を中心に地区



農業委員と推進委員が協力

内を見て回りました。

その後、話し合いをした中で、前年と比較し解消された農地もありましたが、新たに放棄地になった場所もあり、「畑や条件の悪い場所のほか市街地の農地の遊休化が目立つようになってきている」、「担い手が少なくなつて来ている」、「農業従事者の高齢化等で荒廃農地が益々増えそうな気がする」、といった意見が出ました。

今後、遊休農地を少なくするためにも、推進委員を中心に農業関係者が協力して、地域農業の発展のため努力していきたいと思えます。  
《牛久秀一 委員》



# 農業青色申告会 パソコン研究会 （都賀支部）

栃木市農業青色申告会では、旧市町単位の支部でそれぞれ指導会を開催しています。今回は、女性の参加者が特に多い、都賀支部パソコン研究会について、ご紹介いたします。

都賀町農業簿記パソコン研究会は、平成5年に、認定農業者のパソコン購入希望者に補助金が出るという事から始まりました。当時は、デスクトップパソコンなので、講習会場への持ち運びに苦労したそうです。



活動を始めたのもこの頃で、スタート時は17名でしたが、現在は、32名まで会員が増えました。（このうち7割近くが女性です）このパソコン研究会を支えてくれているのが、石川明さん・大塚秀夫さん・茅島美紀さん・ソリマチ農業ソフト認定アドバイザーの根本壽一さんの4名の講師の方々です。ソリマチの簿記ソフトを使って、適切な指導をして下さいます。

■パソコン研究会開催日  
（JAしもつけ都賀地区営農経済センター2F）

毎月第2火曜日  
19:30～22:00（会員以外も可）

毎月第3金曜日  
13:30～16:00（女性のみ）

《取材協力：根本壽一さん》《取材：手塚政子 委員》

栃木市農業青色申告会への入会のお申込みは、農業委員会事務局までご連絡ください。

今このパソコン研究会が本格的に



# 女性農業委員ネットワーク交流会



《荒木陽子委員》

下都賀地区女性農業委員ネットワーク交流会が、昨年8月に壬生町で開催されました。

(株)北研を訪ね、何十種類もの種駒生産・作業工程など説明を受け、工場で実際に作業されている様子を見学してきました。

昼食の時間には情報交換をし、会長からネットワークの成り立ちの説明と役割・各市町の活動の様子・新委員からは意気込みの発表などがあり、実りある時間でした。その後、道の駅みぶハイウェイパーク農産物直売所で農産物の生産状況の把握などもでき充実した一日でした。

## お知らせ

### 平成28年 栃木市田畑賃借料平均額

[10aあたりの賃借料を集計した数値。]

集計期間はH28.1.1 ~ H28.12.31]

【田】 [10aあたり円]

	平均額	最高額	最低額	件数
栃木地区	9,700	19,200	3,700	405
大平地区	10,400	15,000	3,400	606
藤岡地区	9,800	16,000	3,000	559
都賀地区	7,500	12,000	3,000	247
西方地区	7,800	10,000	2,900	23
岩舟地区	9,000	15,000	3,000	370
全 域	9,500	16,000	3,000	2,210

【畑】

	平均額	最高額	最低額	件数
全 域	6,500	11,000	2,000	95

補足：この賃借料はあくまでも目安であり、実際の賃借料は貸し手と借り手双方の話合いで決定します。また、無料で農地を貸し借りする使用貸借もあります。

### 農業用軽油引取免税証申請日程のお知らせ

平成30年2月5日～22日

2月				
月	火	水	木	金
5	6	7	8	9
栃 木	栃 木	共同 受委託	共同 受委託	都賀 西方
12	13	14	15	16
	都賀 西方	都賀 西方	藤 岡	藤 岡
19	20	21	22	23
大 平	大平 静和地区	岩舟地区 小野寺地区	予備日 (全地区)	

受付時間：【午前】9：00～11：30  
【午後】1：00～4：00

申請会場：下都賀庁舎 第2福利厚生棟会議室  
(栃木市神田町6-6)

問合せ：栃木県税事務所 軽油引取税調査担当  
TEL. (23)6882

「農地バンク」  
「農業機械施設バンク」を利用ください

農地バンク

貸付け・売買を希望する農地の情報を集約し、農業経営規模を拡大したい農家や新規就農者に情報を提供し、貸借・売買に繋げる制度です。

登録できる農地：市内の農業振興地域内の農地

農地の利用条件：市内に居住または定住される予定の農業者及び新規就農者

農業機械施設バンク

使用しなくなった農機具や農業施設（使用可能なもの）を登録していただき、その情報を農機具や農業施設を必要とされる方に情報を提供する制度です。（譲渡等の交渉は当事者間で行っていただきます）

登録できる機械施設：使用可能な農業機械・施設で譲渡又は貸付けが可能なもの

機械施設の利用条件：市内に居住又は定住される予定の農業者及び新規就農者

市では「農業機械施設バンク」を利用した農業者に対し、譲受け又は修繕に要した費用の一部を補助します。

◆問合せ

一般財団法人栃木市農業公社

本所(栃木市役所農業振興課内)

☎(20) 5300

北部事務所(都賀総合支所1階)

☎(29) 1411

南部事務所(藤岡総合支所別館1階)

☎(62) 0917

栃木市役所農業振興課 農用地係

☎(21) 2385



アグリスト

# 頑張ってます! Agrist (農・業・人)

## 父に劣らぬよう、 良い鉢花を作りたい

都賀町 花卉園芸農家

大栗正幸さん

君子さん(母)

### 経営状況を教えてください。

花卉園芸を3,000㎡、水稲15aを営んでいます。

花卉は、その時代にあったものを作っています。鉢物では、シクラメン、サイネリア、琉球アサガオ、コスモス等、また、時期により、数種類の花壇苗を生産しています。

### 今まで大変だった事は 何ですか。

8年前、父が他界したので、勤めを辞めて家を継ぎ、母と2人で花作りをしています。何もわからず、途方にくれた時は、近所の方や同業者、友人達からの励ましで助けられ、現在に至っています。種子の選択、病害虫の防除等が難しいのが悩みの種です。



### これからの夢や目標は。

市場からの注文依頼や売立ての報告を受ける時が、この仕事をやっていて良かったと思います。



今後は父に劣らぬよう、良い鉢花を作り、多くの人に喜んでいただけるよう頑張りたいと思います。

〈取材：手塚 政子 委員〉



伝統行事の十五夜には、沢山の思い出し話があります。その中から少し紹介します。子ども頃、藁でつぼうを作り、歌を歌いながら各家々廻り、お菓子やお金を頂くのが楽しみで前の日眠れなかったことや、おいしいものが食べられる喜びで待ちどおしかったこと。あの頃の空は澄みきっていて月が高く大きく、いつまでも眺めていたこと、稲穂に見立てた魔除けのススキを取りに行つて手を切つたこと、月の中でうさぎが餅をつく姿が不思議でしかたなかったこと等々、よもやま話はつきません。秋の収穫に感謝し迎えた十五夜に、皆様にはどんな思い出があるのでしょうか？

《渡辺 計子 委員》

季節の郷土料理



アグリスト  
**頑張ってます! Agrist (農・業・人)**

**美味しさをこだわった  
 卵を食べてほしくて**

**都賀町 養鶏農家**

**渡邊 勉さん・年子さん(妻)**

**健一郎さん(長男)、あゆ美さん(長男の妻)**

**経営状況を教えてください。**

育成鶏6,000羽、成鶏10,000羽、水稲1ha、飼料米1.2ha、麦70aです。

養鶏の方は、私達夫婦と長男夫婦、従業員が男女各2名ずつの8名で、管理からパック詰、配達、販売までしています。

**こだわりのたまご作りとは  
 どんなことですか?**

養鶏業の大規模化が進む中で、こだわりの経営でないと生き残れないと思い、自家育雛、自家配合、自家販売を進めました。

中でも、卵の良否は飼料で決まると考え自家配合に重点を置いています。

**自家配合の原料は何ですか?**

地元の農家と契約した飼料米60tと岐阜産の飼料米70t、銚子港のイワシ、サンマ、広島のカキ殻、栃木の米ぬか、小麦等国内産の原料にこだわり、美味しい卵作りに努力しています。販路は、生協、自宅直売所、自販機、JA直売所等で、「つがのさくら」と「つがのもみじ」の名称で販売しています。  
 《手塚 政子 委員》



年子さん 勉さん あゆ美さん 健一郎さん



**編集後記**

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は農地利用最適化推進委員と車の両輪の様に活動をしてきた結果、農地の集積、集約化が大いに前進しました。また、私ども農業委員会は、耕作放棄地の解消・防止、新規就農者の促進、担い手の育成、地域活動として、地産地消の取り組みや、食育・食農教育など、農村の活性化を目指しています。

これからも、本誌を通して委員会活動をPRしていきます。読者の皆様から、ご意見、ご感想、取材等のご要望をお寄せいただけると幸いです。

編集委員長 阿部 秀夫

**農業委員会だより編集委員**

委員長 阿部 秀夫  
 副委員長 手塚 政子  
 委員 渡辺 計子  
 荒木 陽子  
 山本千恵子  
 五十畑節子  
 大山 善夫  
 篠崎 藤重  
 牛久 秀一